



第137号

令和4年

5月17日発行

# 蒼雲

【発行】

島根県立三刀屋高等学校

〒690-2404

雲南市三刀屋町三刀屋 912-2

TEL：0854-45-2721

FAX：0854-45-5630

## 令和4年度のスタートに

校長 山崎 誠

令和4年度、校長2年目がスタートしました。昨年掲げた学校の合言葉を、表現を一部変え、「小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志」で自立した大人となるために」としました。一部変えた理由は、校長室だより第36号、第37号（学校ホームページに掲載）で始業式講話、入学式式辞として掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

民法改正により成年年齢が4月1日から18歳に引き下げられたことは高校生にとって大きな出来事です。1878（明治9）年に成年を20歳とし、その後松江出身で「民法の父」と呼ばれる梅健次郎らが起草した民法が1898年に施行されてから法律上120年以上も20歳とされてきたのですから大変革です。18歳で成年になることで、親の同意がなくてもローンを組んだり、クレジットカードをつくったりができるようになります。それは、「未成年取り消し権」が行使できなくなることもあります。契約を結ぶかどうかを決めるのも自分なら、その契約に対して責任を負うのも自分自身になります。また、進学や就職などの進路なども自分の意思で決定できるようになります。自分で選んだ進路に責任持つことと

も言えます。三刀屋高校が優良学校として2013年に文部科学大臣賞を受けたキャリア教育の重要性が増してきています。

大きな志をもって未来に向かって歩んでいけるよう、「自立した大人」となるためにすべきことは何か。そういう意味でも前年度同様学校生活、家庭や寮での生活など様々な場面において各自で考えて、自分の言動や取り組みを変えていく勇気を持ち挑戦してほしいと思っています。人に頼る、助けってもらうことは当たり前のことで、ひとり生きていくことが自立することではありません。これまでの自分のふるまいや考え方を見直したときに、自立とはどういうことかあらためて自分なりに考えてみる

ことが大切だと考えています。保護者や他者への依存の仕方を変えてみるなど、小さな挑戦を期待しています。一方で、他者への小さな気遣い、思いやりをもって過ごしてもらいたいと思っています。

高校総体が近づいています。高校生活の集大成として自分らしい戦いを全員がしてほしいと思っています。昨年度、「感動、感謝、気遣い」という3Kの話を講話や校長室だよりで触れたことがありました。総体に向けての激励の言葉でもあります。さ

らに付け加えるなら「笑顔」です。「笑顔」には多くの効用があります。試合においては、心を落ち着かせる効果、体をリラックスさせる効果、余裕があると相手に思わせる効果、チームメイトに安心感を与える効果等々、本当に多くの効果があると思います。気遣いは、心に「余裕」がないとできません。笑顔は、自分にも相手にも心の「余裕」を生みます。何かに結果を残すためには「余裕」が必要です。ギリギリの状態でも物事にむかっては自分の持っている力を出すことはできません。「心技体」すべてにしっかりとした準備が整い、ある程度の「余裕」があることが結果につながることは間違いありません。そのためにも「笑顔」です。その「笑顔」を三高生が地域の方々にも届けてくれることを願っています。

高校総体以降にも、高校野球、コンクール、全国総文祭、全国総体、そして学園祭など3年生の仕上げとなることがやってきます。ここで燃えて、楽しんだ人はきちんと切り替えることができます。自分で決めたこと、やりはじめたことをやり切ることが大事です。「自分との戦いに、感謝の気持ちを持って、笑顔で勝とう！」。受験も同じです。すべてが自立への道程でもあります。その機会を奪わないためにも、教職員一同新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着くことを願ってやみません。

# 令和4年度 入学式

4月9日(土)、晴天の下、「令和4年度第75回入学式」が挙行されました。卒業式に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小したかたちではありましたが、118名の新入生を迎えることができました。

入学許可の後、校長から、小さな挑戦、小さな気遣い、大きな志、自立した大人となるために、という三高(三刀屋高校)の合言葉が贈られました。「勇気を少し出して小さな挑戦をし、毎日少し成長した自分に出会うのが楽しみになるような生活を送ってほしい。また、自己中心的にならず、他者を気遣ってほしい、そうすることが、安心して失敗から学ぶことができる学校を造っていくことになる。そして、求める生徒像にあるように、志をもって粘り強く努力し、自らを高めようとする生徒であってほしい」というお話がありました。

式の規模縮小のため、当日参加できない吹奏楽部による録音での参加等もあり、緊張感の中にも、新入生を温かく歓迎する雰囲気がある入学式となりました。



新入生  
歓迎

吹奏楽部、ダンス同好会 /  
ランチタイムコンサート  
ランチタイムパフォーマンス



# Freshers Seminar

フレッシュャーズセミナー



入学式から一ヶ月が経ちました。入学してすぐのところまで学校生活や勉強、進路の話があり、また、国語、英語、数学については、勉強の仕方についての学習オリエンテーションも受け、それぞれが今後についてしっかりと考えて高校生活をスタートしました。

さて、4月20日に「新入生フレッシュャーズセミナー」を実施しました。今年度の一年生から高校でも一人一台端末の使用が始まりましたが、その端末の使い方の説明と図書館オリエンテーションを行いました。

端末については、各自のアカウントでログインをして、アンケートに答えたり、 구글ミート を利用したりして、オンラインでのやりとりを体験しました。その後、プレゼンテーションソフトを利用して自己紹介を作成し、何人かのクラスメイトと共有しました。まだ話したことのないクラスメイトと話す良い機会にもなりました。

端末は各自で管理をします。毎日の充電は持ち帰ってすることや、他人との貸し借りはできないことなど、端末の管理についても話がありました。ご家庭の協力もいただきたいと思えます。この端末は学校での授業はもちろん、家庭での学習、学校との連絡などにも使えます。有効活用していきたいと思えます。

図書館オリエンテーションでは、本校図書館の利用の仕方を聞いたり、「味見読書」をしたりしました。「味見読書」とは興味のある本を選び、興味のある部分を読むことです。高校生のうちにたくさんの本と出会い、今後の人生に生かしてほしいと思えます。

授業や部活動も本格的に始まりました。新入生みなさんの高校生活が充実したものになることを期待しています。



## 女子ソフトボール部

### 第40回全国高等学校

### 女子ソフトボール選抜大会

### 結果報告

私たちは、3月に広島県尾道市で行われた第40回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会に出場しました。コロナ禍で十分な練習ができない中ではありましたが、一人一人が強い気持ちを持って試合に臨みました。

2回戦で栃木県矢板中央高等学校と対戦しました。チーム全員が強気なプレーをし、持てる力を出し切りましたが、相手に力及ばず14対1という悔しい結果になりました。敗れはしましたが、全国の強い相手に自信を持つて堂々と戦えたのはこれからの私たちの強みになると思えます。総体まで残り2ヶ月、この大会で得た自信を胸に一人一人がもつと成長していけるようにお互いに切磋琢磨して練習に励んでいきます。

そして、必ずインターハイに出場し、三高女子ソフトボール部に代々受け継がれてきた「全国ベスト16」という目標を達成したいと思えます。これからも応援よろしくお願ひします！



## 全国大会報告

前回の第136号で私たちの活動を知っていただき、たくさんの方々から応援メッセージをいただきました。ありがとうございました！

私たちは『気づき・考え・実行する』を合言葉に、身近な課題を見つけ、いろんなことにチャレンジしてきました。昼食販売では、約50店舗にお願いする過程で保護者の大島さんのご協力も得ることができ、一年半かけてようやく実現しました。時には強い口調で却下されて涙が出る事もあったり、保健所に許可を得たり、企画書を書いたり、苦労して実現した昼食販売は、今は生徒会や大勢のボランティア生徒が盛りあげてくれています。

学校献血も約20年ぶりに復活できました！単に血液を提供していただくというのではなく、血液を輸入に頼っている現状や白血病の男児のエピソードを紹介し、献血を自分事として感じてもらおう企画を工夫しました。また約800回献血をされた佐藤さんやライオンズクラブの皆さんの協力もあり、献血協力者数が高校で行われた献血活動のうち県内史上最多という成果に繋がったと思います。

永井隆博士知っとくワークシート・スタンプラリーも好評で、市内全小中

学校や公共施設だけでなく市内の全戸にも配布され、1万3千枚を完配しました。現在は増刷やひらがな版を待つてもらっています。

この他、豪雨や大雪があれば復旧活動や募金を行ったり、人の命や健康を守るための研修を通して各役員がアイサポーターや救急員などの複数の資格を取得したりしています。

私たちは、これらの活動のまとめを『Original Style in 雲南〜広げる健康・繋げる命〜』として様々な場で発表する機会を得ました。おかげで、「高文連 青少年赤十字研究発表最優秀賞」「全国ボランティアスピリット賞」「全国マイプロジェクトアワード優秀賞」を受賞できました。

試行錯誤で行ってきた活動がこのような形で顕彰された事はとても嬉しいです。でもそれ以上に、私たちの活動を知る地域の方々から「雲南市にはなくてはならない存在だよ」と声をかけていただけたことが何よりも励みになります。私たちの活動をちゃんと見てくれていて、それに反応し、協力してくれる、三高生や市内の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも部員みんなで話し合いながら失敗も成功も一緒に経験して活動していこうと思います。引き続き応援よろしくお願いします。



## 1学期の行事予定

4月9日(土) 入学式

5月2日(月) 代休日(4月9日分)

5月12日(木) ~ 5月14日(土) 中間試験

5月14日(土) PTA総会 … 中止

5月16日(月) 代休日(5月14日分)

5月17日(火) 避難訓練

5月26日(木) ~ 6月5日(日) 島根県総合体育大会

6月27日(月) ~ 7月1日(金) 期末試験

7月6日(水) 球技大会

7月23日(土) ~ 夏休み

